

ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ

株主の皆さまの日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

当上半期は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しながら社会経済活動の正常化を維持する中で、企業収益や雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も緩やかに持ち直してきています。引き続き景気回復への期待はあるものの、経済の先行きについては、感染症の再拡大やウクライナ情勢の長期化と円安に起因する原材料価格の高騰や物価上昇などの景気後退懸念により、極めて不透明な状況です。

情報サービス産業においては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPAなどのDX推進に向けた需要を軸に企業等のIT投資は回復傾向にあります。

当社ではお客様と綿密なコミュニケーションを図り、提案活動の継続強化に注力した結果、新規案件の獲得や既存案件の追加受注に結びつき、当上半期は増収増益を確保しました。また、お客様のITサービスに対する旺盛な需要に応えるため、本年度は新入社員の採用数を増やし、若手社員をはじめとする技術者への教育投資に取り組んでいます。

ここにその取り組みの一端をご報告させていただくとともに、株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社をご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

濱田 広徳

OUR VISION AISビジョン

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



Q1 業績の好調が続いています。その背景からお聞かせください。

A1 当上半期は増収増益を維持しました。お客様からはデジタル技術を事業変革に活かすDXへの期待が大きく、当社への引き合いはさらに強まっています。これらのニーズに応えるため、新卒採用を2割ほど増やすとともに、ご要望が増えているクラウドサービスやネットワーク、セキュリティ関連の教育に力を注いでいます。新卒社員は数カ月の教育期間を経て配属されるため、一時的に労務費や教育にかかわる負担は増えるものの、将来に向けた先行投資と位置づけています。

部門別では、主力のネットワークサービス部門が技術者投入やビジネスパートナーの活用により業績を伸ばしています。システム開発部門は新規案件を獲得する一方で、技術者の一部をネットワークサービス部門に移行させたことから微減となりました。システム運用部門は契約料金の改善により増加しています。

Q2 お客様のニーズの変化にどのように対応されていますか。

A2 近年のニーズに、コンピュータウイルスを感染させて身代金を要求するランサムウェアなどへの対応があります。業務に支障を及ぼす悪質なものだけにセキュリティ対策の強化が求められます。また、「2025年の崖」と呼ばれるシステムの老朽化・ブラックボックス化がリスクになると言われています。改修に次ぐ改修で対応してきた古いシステムは、今後、クラウド化で対応していくことになるでしょう。ただ、お客様のニーズをつかむ営業活動はコロナ禍でWeb会議が中心となり、対面のようにいかないもどかしさもあります。お客様先に常駐する現場社員がお客様と積極的にコミュニケーションを図りながらニーズをつかみ、営業担当者と連携して新たな案件を獲得するケースが増えています。お客様とチームで向き合うことがますます大切になっています。

Q3 DXに期待が高まっています。どのように取り組んでいきますか。

A3 当社は、デジタル化の技術支援を通してお客様のDXを推進しております。お客様のニーズに寄り添ったサービスを展開していくことが大切であり、日頃のコミュニケーションを密に行うことで、改善提案などの現場力を高めることに注力してきました。お客様からは、RPAによる業務の自動化・効率化支援をはじめ、開発コストを低減するローコード開発やアジャイル開発、クラウド環境の構築・移行といったご要望があり、専門人材への需要は確実に高まっています。一人ひとりの技術力強化に向けて、外部講習などをはじめ教育投資を積極的に行っています。当期からクラウドベンダーが提供する教育環境を社内を導入し、AWSやAzure基盤の構築から運用までを実践的に習得できるようにしています。

Q4 新たな中期業績目標がスタートしました。どのような課題に注力しますか。

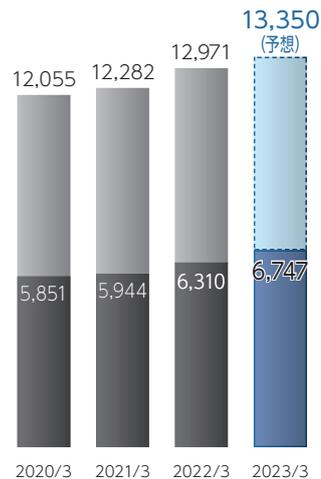
A4 2025年3月期の中期業績目標では、3年間で売上高14,150百万円（9.1%増）、営業利益1,360百万円（9.0%増）、営業利益率9.6%の達成を目指します。官民をあげたデジタル化の動きや次世代の分散型インターネットWeb3への移行といった追い風もあり、引き続き成長を持続できるものと考えています。

目標達成に向けて、次の2点を重視します。1つめは「課題解決にチームとして貢献できるプロジェクトの増加」です。プロジェクトを担える中核人材は着実に育ってきています。お客様に信頼されるプロジェクトマネージャーのもとでは、上流工程への業務も広がり、チーム力の向上や社員のやりがいにもつながります。2つめは「DX関連業務の拡大」です。クラウドサービスをはじめ、ローコード開発やアジャイル経験者への引き合いは増えています。社員のキャリアアップにつながるこれらの分野に積極的にチャレンジしていきます。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

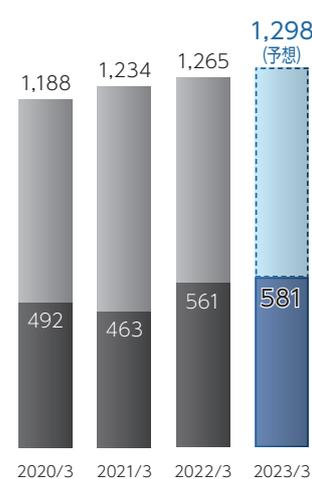
売上高

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



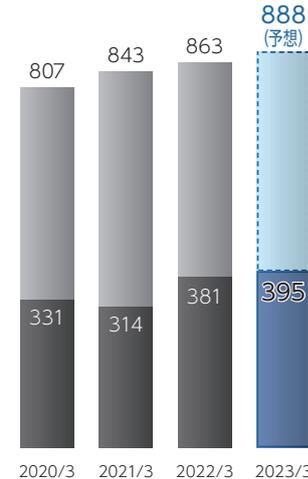
経常利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



四半期(当期)純利益

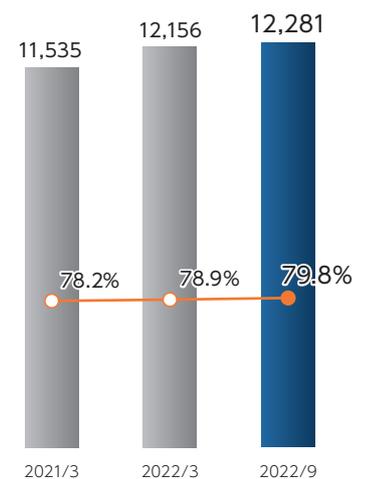
単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



総資産 / 自己資本比率

単位：百万円

● 自己資本比率

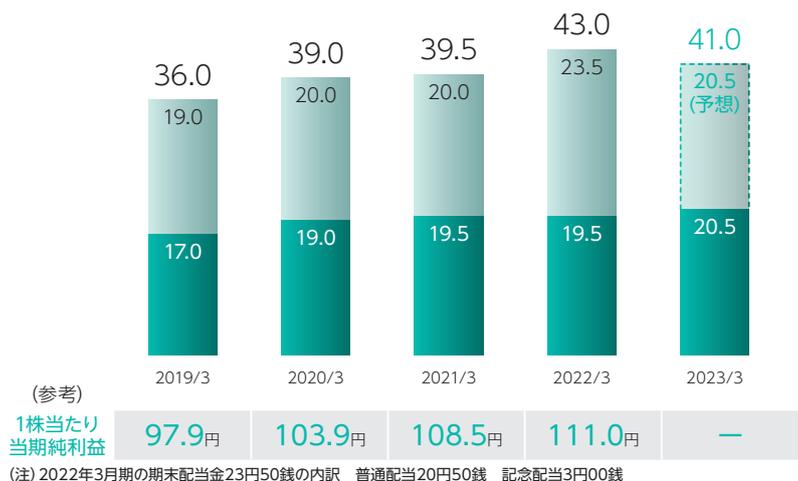


DIVIDEND 配当金

配当金の推移

単位：円

■ 中間 ■ 期末



SHAREHOLDERS INFORMATION 株式の状況

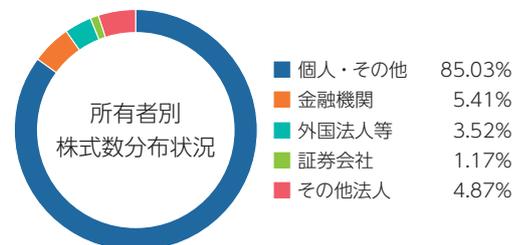
株式の状況

(2022年9月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 20,729,000株 |
| 発行済株式の総数 | 8,264,850株 |
| 株主数 | 4,918名 |

株式分布状況

(2022年9月30日現在)



CORPORATE DATA 会社概要

(2022年9月30日現在)

会社概要

| | |
|--------|--|
| 商号 | 旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD. |
| 設立 | 1962年8月7日 |
| 資本金 | 7億3,336万円 |
| 従業員数 | 1,769名 |
| 主な事業内容 | 当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。 |

役員

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 濱田 広徳 |
| 常務取締役 | 宮下 勇人 |
| 取締役 | 水野 伸一 |
| 取締役 | 高橋 章近 |
| 取締役 | 田茂 義之 |
| 取締役 | 水島 克典 |
| 取締役相談役 | 田中 博 |
| 取締役(社外) | 岩田 守弘 |
| 取締役(社外) | 菱山 玲子 |
| 常勤監査役 | 上関 孝昭 |
| 監査役(社外) | 三浦 州夫 |
| 監査役(社外) | 清水万里夫 |
| 監査役(社外) | 久保 英資 |

株主メモ

| | |
|-----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | ☎ 0120-782-031 |
| インターネットホームページURL | https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.aiskk.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

● 証券会社に口座をお持ちの株主様

お取引の証券会社にお問合せください

● 証券会社に口座をお持ちでない株主様

左記電話照会先にお問合せください

● 特別口座の株主様
株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、年1回の株主優待を実施しております。(毎年5月発送)

贈呈
基準

毎年3月31日現在で、**500**株以上お持ちの株主様

優待
内容

| 保有株式 | 優待内容 |
|--------------------|--------------------------------|
| 1,000株以上 | カタログギフト7,000円 または日本赤十字社への寄付 |
| 500株以上 1,000株未満 | カタログギフト3,000円 または日本赤十字社への寄付 |



寄付について

株主様のご意志により社会貢献活動にご参加いただけるよう、寄付項目を設け実施させていただきます。寄付金は、日本赤十字社が行う災害救護や新型コロナウイルスなどの感染症拡大防止、防災・減災の教育などの活動資金に活用されます。寄付項目を選択いただいた株主様、優待品の受け取りを事前に辞退された株主様、カタログギフトの申込期日までにお申し込みをいただかなかった株主様につきましては、優待品の発送に代えて、その相当金額を上記活動団体へ寄付させていただきます。

<寄付に関するご留意事項>

- 必要経費を除いた金額を、旭情報サービス名義にて、日本赤十字社に寄付させていただきます。
- 領収書、その他の寄付を証する書面等は発行いたしませんのでご了承ください。
- 株式会社ハーモニックよりお礼状をお送りさせていただきます。

旭情報サービス株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
<https://www.aiskk.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。